

# 現場説明書

1 工事名 台風15号による平成地区海辺つり公園災害復旧工事  
2 監督員 港湾部 港湾建設課

## 説明事項

### 1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

### 2. 契約の保証について

契約の保証 要 本要

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の100分の10以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書
- (2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等
- (3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、市長が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社の保証書
- (4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券
- (5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

### 3. 前払金について

前払金 する ~~しない~~

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

### 4. 中間前払金について

中間前払金 する ~~しない~~

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

### 5. 部分払について

部分払 する(一回以内) ~~しない~~

### 6. 継続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について

- (1) 継続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初年度( 年度)	%	支払限度額・請負代金額の %
第2年度( 年度)	%	支払限度額・請負代金額の %
第3年度( 年度)	%	支払限度額・請負代金額の %

- (2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。

## 7. 契約に関する事項について

### (1) 設計図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とじし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

### (2) 提出書類関係

- ア 請負代金内訳書 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要
- イ 工 程 表 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要
- ウ 着 手 届 着手後5日以内に提出すること。
- エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
- オ 下請負関係書類 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。
  - ・ 施工体制台帳
  - ・ 施工体系図
  - ・ 再下請負通知書（再下請負の発注がある場合）
- カ 直 営 工 事 届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

### (3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

### (4) 支給材料、貸与品関係

- ア 支 給 材 料 あり なし
- イ 貸 与 品 あり なし

### (5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

### (6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

### (7) 部分引渡し関係

- 部分引渡し指定部分 あり なし

### (8) 火災保険等の関係

- 火災保険その他の保険の付保条件 あり なし

## 8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 工事 > 入札制度関連情報<工事> において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

## 9. コリんズの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

## 10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済(以下「建退共」という。)に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼り付けること。
- (2) 請負者は、当初請負代金額が500万円以上の場合、建退共の発注者用掛金収納書を貼った「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第1号様式(建退共))、「建設業退職金共済関係提出書」(第2号様式(建退共))、「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に監督員に提出すること。ただし、この制度に代わる退職金共済等に加入している場合又は対象労働者がいない場合については、内容を記載した「確認書」(第4号様式(建退共))を契約締結後1箇月以内に監督員に提出すること。  
なお、当初請負代金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料を提出しなければならない。
- (3) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、当該下請負者の建退共加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (4) 下請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合、元請負者は建退共加入手続及び建退共関係事務の処理について、下請負者からの依頼には積極的に受託するよう努めること。
- (5) 請負者は、工事現場に建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。
- (6) 正当な理由がなく建退共に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は工事成績評価において考慮される事となる。

## 11. 施工計画書の提出について

### (1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

ア 当初請負代金額が500万円未満の工事、又は当初工期が60日未満の工事

イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事

ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

### (2) 施工計画書の記載事項等

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 検査情報に記載（別表）のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

### (3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

### (4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

## 12. ワンデーレスポンスの取り組みについて

### (1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスポンスに取り組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

### (2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

## 13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が随時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

## 14. 下請負者について

(1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。

(2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

## 15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

## 16. 技術的事項について（別紙）

# 特記仕様書

## 1 工事件名

台風 15 号による平成地区海辺つり公園災害復旧工事

## 2 工事概要

災害復旧	1 式
コンクリート工	1 式
デッキ工	1 式
付属施設工	1 式

## 3 施工場所

横須賀市平成町 3 丁目 1 番地先

## 4 工期 (140 日間)

自	令和	年	月	日
至	令和	年	月	日

## 5 工事仕様

本特記仕様書に定めのない事項については、「港湾工事共通仕様書 (社団法人 日本港湾協会発行)」及び「神奈川県土木工事共通仕様書」によるものとし、当該共通仕様書の共通編等における契約条項等は、本市の契約条項等に読み替えて使用する。

ただし、使用材料等の基準が改正された時は、新基準に基づくものとする。

なお、特記仕様書を最優先するものとする。

## 6 下検査の実施について

しゅん工検査前に、現場代理人が立会いの上、港湾建設課の実施する下検査を受けなければならない。

## 7 工事基準面について

本工事の工事基準面は、東京湾平均海面-1.020mとする。

## 8 工事コストの表示について

当初請負金額 1,000 万円以上の工事においては、工事標示看板に工事費として当初請負金額 (万円単位) を表示すること。ただし、変更契約時に看板の工事費表示を変更する必要はない。記載例「工事費 1 億 2,500 万円」

## 9 施工管理について

本工事の施工管理の方法、品質及び出来形の規定値は、日本港湾協会発行の「港湾工事共通仕様書 (最新版)」及び神奈川県発行の「土木工事施工管理基準 (最新版)」によるものとし、監督員の指示に従い施工管理を行うものとする。ただし、使用材料等の基準が改正されたときは、新基準に基づくものとする。

## 10 法定外の労災保険について

本工事の現場管理費には、法定外の労災保険の経費を含んでいるので、その写しを提出すること。

## 11 無石綿 (アスベスト) 化への対応

本工事で使用する建材は、石綿を原材料としていないものを用いて施工すること。また、下請負者を使用する場合は、同様の内容を周知し、徹底を図ること。

## 12 熱帯材使用型枠の削減について

本目的は、地球環境保全の観点から、従前使用されていた熱帯材を原料とするコンクリート型枠用合板 (熱帯材 100% のもの) を代替型枠材料 (鋼製型枠、針葉樹型枠、複合型枠等) へ転換することにより、熱帯材使用型枠の使用量を削減し、熱帯材の保全に寄与することを目的とする。

(1) 従前使用されていた熱帯材を原料とするコンクリート型枠用合板 (熱帯材 100% のもの) は使用

しないものとする。請負者は、これに替わる代替型枠の選定にあたっては、地球環境保全に配慮するとともに、その工事の作業条件等により、請負者の責任と費用負担により選択するものとし、代替型枠について、施工計画書に記載するものとする。

- (2) コンクリート型枠用合板(針葉樹型枠、複合型枠)を使用する場合は、塗装されたものを極力使用し、その型枠の転用の増加を図るものとする。

また、最終的な型枠材料の処理としては、できるだけ再利用等を図るなどして資源のムダ使いを無くすよう努めるものとする。

### 13 建設リサイクル法について

平成14年5月30日施行「建設リサイクル法」に基づき、必要な書類を工事主管課に提出すること。ただし、請負金額が500万円未満の場合は、不要とする。

### 14 出来形について

出来形については、管理図により出来形図表を作成するとともに、設計図に朱色で完成寸法を入れた資料を提出すること。

### 15 しゅん工図について

- (1) A3判しゅん工図(原図・課長までの決裁を取ったもの)

- (2) A3判しゅん工図(しゅん工書類に添付)

- (3) しゅん工図面をCDに記録し提出すること。

なお、CDへの記録は(1)の図面を原寸のまま400dpiでスキャンし、PDF形式にて記録すること。またCD表面には「施工年度」、「工事名称」、「請負者名」、「監督員名」を記入すること。詳細は監督員の指示に従うこと。

### 16 工事写真帳について

- (1) 工事写真アルバム(32cm×33.5cm、緑色)を使用し、2冊以上になる場合には、(2の1)、(2の2)と表示すること。

- (2) 表紙に、工事名・工事場所・工期・発注者名・施工社名を記入し社印を押印する。また背表紙をつけること。

- (3) 上記提出方法以外で工事写真帳を提出する場合は、監督員の承諾によるものとする。

### 17 しゅん工検査時に必要な書類について

横須賀市ホームページ>市政情報>入札・契約・検査>検査情報>[土木工事関係書類一覧表](#)

(H30.4.1時点)を参照し作成すること。

なお、上記一覧表以外の書類については、監督員の指示によるものとする。

### 18 その他

- (1) 本仕様書及び本仕様書に記載無き事項で疑義が生じた場合は、監督員と協議の上決定すること。

- (2) 本工事に使用する剥離剤は、水溶性のものを使用すること。

- (3) 型押しコンクリート舗装における舗装柄及びコンクリート塗装における塗料の色については、監督員と別途協議して決定すること。

## 建設副産物実態調査に係る特記仕様書

- 1 元請業者は、建設資材利用量の大小や有無及び建設副産物発生量・搬出量の大小や有無にかかわらず、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。

ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。

なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源有効利用促進法」で定められた「再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）の作成」を兼ねるものとする。

本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備 考
搬入する 建設資材	コンクリート	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	
	木材	
	アスファルト混合物	
	土砂	
	砕石	
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬出する 建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材A (柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、建設工事（工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。）に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物）	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト（飛散性）	
	その他の分別された廃棄物	
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土 (建設汚泥を除く)		

- 2 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。
- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページ<http://www.recycle.jacic.or.jp/>から建設副産物情報交換システムにログインする。  
システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。
  - (2) 当初契約時点でのデータを入力する。（「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成）
  - (3) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(計画)」を印刷し、監督員に提出する。
  - (4) 工事完成時に実施書(最終データに修正)に書き換える。
  - (5) 各種書類の印刷により、「チェックリスト」を出力し、必須エラーが発生していないことを確認する。
  - (6) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(実施)」を印刷し、監督員に提出する。
  - (7) 建設副産物情報交換システムに工事情報を登録した場合は、再生資源利用(促進)計画書、再生資源利用(促進)実施書および建設リサイクル法に基づく再資源化報告書は監督員に提出されたものとみなす。

3 データ入力上の留意点

(1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出(一種発生土～浚渫土)には、「地山 $m^3$ 」で入力し、建設資材利用(土砂)には、「締め $m^3$ 」(表2、土量の変化率Cを考慮)で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

  

軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

- 掘削 1 0 0  $m^3$   
 埋戻し 2 0  $m^3$  (締め $m^3$ )・・・「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。  
 2 2  $m^3$  (地山 $m^3$ )・・・「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。  
 2 0  $m^3$  / 変化率C (仮に0.9とする) = 2 2  $m^3$   
 処分 7 8  $m^3$  (地山 $m^3$ )・・・「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。  
 1 0 0  $m^3$  - 2 2  $m^3$  = 7 8  $m^3$



(2) 建設資材利用について

ア 建設リサイクル資材を利用する場合は、建設資材利用の欄に以下の方法により入力する。

- ・表3にまとめる調査対象品目の分類ごとに建設リサイクル資材をそれぞれ入力する。
- ・建設リサイクル資材の品目名については、神奈川県建設リサイクル資材認定資材一覧表（以下、認定一覧表という）を参照する。

表3 調査対象品目と建設リサイクル資材品目名

調査対象品目 (建設資材の「分類」)	建設リサイクル資材の品目名
土砂	再生改良土
アスファルト・コンクリート	再生加熱アスファルト混合物
碎石	再生骨材等
コンクリート	再生コンクリート二次製品(無筋)※
	再生舗装用ブロック (平板、インターロッキングブロック、レンガブロック等)
	再生骨材コンクリート
コンクリート及び鉄から成る建設資材	再生コンクリート二次製品(有筋)※
木材	再生木質ボード
	再生集成材・合板
塩化ビニル管・継手	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管

※再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が無筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート」に、再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が有筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート及び鉄から成る建設資材」に入力する。

- ・「規格」は認定一覧表の「寸法・規格等」を入力する。
- ・「再生資材の供給元施設、工事等の名称」については認定一覧表の「製造工場」を入力し、「再生資材の供給元場所住所」については、認定一覧表の製造工場の住所を入力する。
- ・「再生資材利用量」は、利用量と同じ値を入力する。

イ 新材を利用する場合は、調査対象品目の中で箇所を変えて入力する。また、その際の「再生資材利用量」には0を入力する。

ウ RC-10（再生砂）を利用する場合は、「土砂」の「再生コンクリート砂」欄に入力する。

(3) 建設副産物発生・搬出（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材A・B、建設汚泥、建設発生土（第一種～第四種建設発生土及び浚渫土））について

ア コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊を神奈川県コンクリート塊等処理指定工場に搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

イ 建設発生木材等のうち解体木くず、新築端材木くずを神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物になったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

ウ 建設発生木材等のうち伐木材、除根材を神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

エ 建設汚泥を一部であっても改良土等に処理している施設などに搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

オ 再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を「5 工事予定地・仮置場・ストックヤード（再利用の目的がある場合）」と選択する。

## 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行に関する特記仕様書

### 1 適用

本仕様書は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行にあたり、必要な事項について定めるものとする。

### 2 対象期間

現場着手日から現場施工最終日までの期間とする。ただし、現場施工最終日が完成期限の20日前を超える場合は、完成期限の20日前までとする。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

### 3 真夏日の算出

受注者は、指定の様式を用いて真夏日にあたる日数を算出し、その算出結果を監督員へ報告するものとする。

### 4 現場管理費の補正

本補正は、受注者が経費補正を希望した場合に適用する。

現場管理費の補正は、指定の様式を用いて真夏日率及び熱中症対策の補正值を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行う。

### 5 実施報告

受注者は、しゅん工届提出日の20日前までに、指定の様式を用いて作成した以下の報告書を監督員に提出するものとする。

- ①真夏日 計測結果
- ②熱中症対策実施報告書
- ③真夏日率等算定表

### 6 様式ほか資料

熱中症対策に資する現場管理費補正の試行に係る報告様式、要領およびQ&Aは、財政部工事検査課のホームページ「各部局の工事積算情報」で確認すること。

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/1623/koujitousekisann.html>

## 施工条件明示事項

1. 当該工事の施工条件明示事項は、下記表□内の黒塗り部分が対象となる。ただし、明示されているものは特に必要なものであり、全てに対して明示されているものではない。
2. なお、請負者は下記明示事項やそれ以外に該当すると思われるもので、明示されていない場合には、その都度監督員と協議するものとする。

明示項目	明示事項
■工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限（準備工期の設定等） <input type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立 <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響 <input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間 <input type="checkbox"/> 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数
□用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分 <input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場用の民有地等の借地 <input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用 <input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容
□周辺環境関係 (公害、排水等)	<input type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）対策 <input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設 <input type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策 <input type="checkbox"/> 事業損失防止関係
□安全対策関係	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定 <input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限 <input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設 <input type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置 <input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策
■工事用道路関係	<input checked="" type="checkbox"/> 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限 <input checked="" type="checkbox"/> 搬入路の使用後及び使用後の処置 <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置 <input type="checkbox"/> 一般道路の占用
□仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設物（仮土留、足場等）の他の工事への転用若しくは兼用 <input type="checkbox"/> 仮設備の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件の指定
■建設副産物関係	<input type="checkbox"/> 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件 <input type="checkbox"/> 建設副産物の現場内での再利用及び減量化 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物の処理
□薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法の施工 <input type="checkbox"/> 周辺環境への調査
□工事支障物件等	<input type="checkbox"/> 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在 <input type="checkbox"/> 地上、地下等の占用物件工事との重複施工
■その他	<input type="checkbox"/> 工事用資機材の保管及び仮置き <input checked="" type="checkbox"/> 工事現場発生品 <input checked="" type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品 <input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等 <input type="checkbox"/> 架設工法の指定 <input type="checkbox"/> 工事用水、電力等の指定 <input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法の指定 <input type="checkbox"/> 部分使用 <input type="checkbox"/> 給水の必要 <input type="checkbox"/> 電子納品対象工事特記仕様書

# 施工条件明示の事例

## ■工程関係

### 1. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限

海辺つり公園は台風 15 号により被災を受け、現在閉鎖しているが、公園の復旧状況に応じ、段階的に南側ゲートから開放する予定である。解放時期、範囲及び未復旧箇所への立入防止措置については、監督員と協議し決定すること。

### 2. 関係機関との協議条件による影響

公園管理者との協議により、作業時間等に制約があった場合は厳守すること。

## ■工事用道路関係

### 3. 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限

コンクリートポンプ車及び生コンクリート車等の大型車の搬入経路は北側ゲートから行うものと想定している。また、コンクリート打設に関して、図面名称「コンクリート復旧図」に示すコンクリートポンプ車設置可能箇所から最長 390mの圧送を見込んでいる。

### 4. 搬入路の使用後及び使用後の処置

搬入路について汚損・損傷等があった場合には、直ちに監督員に報告し請負者の責においてこれを処置すること。

## ■建設副産物関係

### 5. 建設副産物及び建設廃棄物の処理

本工事の施工により発生する建設副産物の処理については下記のとおりとする。

種類	受入れ場所	運搬距離	受入れ条件
コンクリート塊	県で登録を受けた工場	L=8.7km	処分場の決まりのとおり

1. 処分は上記内容で積算をしている。
2. 建設副産物の搬出に際しては、再生資源の活用に関する法律に基づく再生資源利用促進計画書(実施書)を作成し監督職員に提出しなければならない。

## ■その他

### 6. 工事現場発生品

現場で不要となったイペ材は有価物として買取りを想定している。

### 7. 支給材料及び貸与品

デッキ工で使用する床板は、被災前に使用していたボードウォークのイペ材であり、支給材とし、公園内での受け渡しとする。また、イペ材の再利用可否は木材劣化診断士の判断のもと行うものとする。

# 積算諸条件調書に係る追加事項

※次の1～10該当する場合は考慮すること

## 1 市独自単価及び積算における補足資料について

本設計積算書内（市独自単価一覧表）に記載の資材単価は、「ホームページ（各部局の工事積算情報）」の「市独自単価一覧表」に掲載しています。又当該頁に併せて積算における補足資料も掲載しています。 <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/1623/koujitousekisann.html>

## 2 港湾・漁港工事積算基準コード対応について

港湾請負工事積算基準を適用している場合は、独自のコードを使用している。  
出典などを記載した対応表を港湾部のホームページで公開している。  
[http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/6630/minato/kensetu/kouwan\\_tanka.html](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/6630/minato/kensetu/kouwan_tanka.html)

## 3 単価表コードについて

設計積算書の各単価表コードは、以下のとおりである。  
港湾請負工事積算基準適用：DH…、DHG…、DHT…、CH…  
神奈川県土木工事標準積算基準書適用：WB…、CB…、WK…、D…、CD…  
下水道用設計標準歩掛表適用：DKG…、DKK…  
なお、神奈川県土木工事標準積算基準書を使用する場合は、神奈川県土木工事標準積算基準書の施工単価入力基準表のコードに適用している。

## 4 市場単価の端数処理について

市場単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとする。  
なお、単価補正が行われた場合の単価は、小数点以下第2位（少数点以下第3位四捨五入）まで計算し、数量×単価＝金額を算出している。

## 5 土砂検定費について

単価には、諸経費、技術料及び報告書作成の一切の費用を含むため、その他の間接費の対象となりません。

## 6 共通仮設費の対象外となる桁等購入費について

桁等購入費 あり なし

## 7 施工パッケージ型積算のタイヤ損耗費及び補修費への対応について

ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額を計上している。

## 8 仮設材質料の補正について

供用月当り賃料区分が変わることにより、日数の増加に比例せず金額が減少する場合には、減少する時点の上限額として、減額補正をしている。

## 9 コンクリート単価について

生コンクリート「18-8(高炉)、水セメント比65%以下」の規格を満足させるには、横須賀市生コンクリート協同組合各社において、「21-8(高炉)、水セメント比指定なし」となるため、積算では、「21-8(高炉)、水セメント比指定なし」の単価を計上している。

## 10 基準書等の適用について

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| (1) 港湾請負工事積算基準            | 平成31年度版   |
| (2) 漁港漁場関係工事積算基準          | 令和元年度版    |
| (3) 土木工事標準積算基準書(土木工事編Ⅰ、Ⅱ) | 令和元年7月1日版 |
| (4) 積算参考資料(土木工事編)         | 令和元年7月1日版 |
| (5) 土木工事標準積算基準(電気・機械編)    | 令和元年7月1日版 |
| (6) 下水道用設計標準歩掛表           | 平成31年度版   |
| (7) 船舶および機械器具等の損料算定基準     | 平成30年度版   |
| (8) 建設機械等損料表              | 令和元年度版    |


令和 01 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )

設 計 書 番 号	年度 01
事 業 所 名	横須賀市港湾部
( 工 事 ・ 業 務 ) 名	台風15号による平成地区海辺つり公園災害復旧工事
( 工 事 ・ 業 務 ) 簡 所	横須賀市平成町3丁目1番地先
( 河 川 ・ 路 線 ・ 区 域 ) 名	横須賀港 (平成地区)
単 価 採 用 地 区 名	横須賀
事 業 区 分	
工 期	140 日間
設 計 金 額	( 円 ) 円
設 計 概 要	
( 起 工 ・ 変 更 ) 理 由	

令和 01 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )

<支出科目>

款	12 災害復旧費
項	02 土木施設災害復旧費
目	03 港湾施設災害復旧費
節	15 工事請負費
細節	91 工事請負費 [災害復旧目]

<合併区分情報>

合併処理設定	しない
	区 分 1
	区 分 2
	区 分 3
	区 分 4
	区 分 5
	区 分 6
	区 分 7
	区 分 8
	区 分 9

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
		前回変更請負額(b2)		(d)=(b1)/(a)×(c)		
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 01 年度 積算諸条件調書 ( 当初 )

経費等情報	主たる工種	公園工事		
	施工地域・工事場所区分	市街地DID補正(2)		
	現場環境改善費計上区分	計上しない		
	緊急工事による補正	補正しない		
	前払金支出割合	35%を超える場合		
	契約保証の方法	金銭的保証		
	間接工事費率補正 (上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合)			
	共通仮設費率補正	0.00%		
	現場管理費率補正	0.00%		
	一般管理費率補正	0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分			
	土木工事標準積算基準書 適用年版	令和01年7月1日適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版	令和02年1月1日基準		
	週休割増補正区分	補正しない		
積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考
	コンクリートポンプ車 プーム式90~110m <sup>3</sup> /h	15	日	

(その他情報欄)



# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
災害復旧			1	式			
コンクリート工			1	式			
壁コンクリート			1	式			第 0001 号 内訳書
蓋コンクリート			1	式			第 0002 号 内訳書
水たたき部コンクリート			1	式			第 0003 号 内訳書
石張舗装補修			1	式			第 0004 号 内訳書
コンクリート圧送			1	式			第 0005 号 内訳書
コンクリート側面着色			1	式			第 0006 号 内訳書
デッキ工			1	式			
デッキ部復旧			1	式			第 0007 号 内訳書
ベンチ復旧			1	式			第 0008 号 内訳書
階段部復旧			1	式			第 0009 号 内訳書

# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
スロープ背後ボード復旧				式			第 0010 号 内訳書
			1				
付属施設工				式			
			1				
付属物工				式			第 0011 号 内訳書
			1				
直接工事費計				式			
			1				
共通仮設費計				式			
			1				
共通仮設費（率分）				式			【千円止】
			1				
純工事費				式			
			1				
現場管理費				式			【千円止】
			1				
工事原価				式			
			1				
一般管理費等				式			
			1				
スクラップ評価額				式			第 0985 号 内訳書
			1				
工事価格				式			【万円止】
			1				
消費税及び地方消費税相当額				式			
			1				

# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費計							
			1	式			

第0001号 内訳書  
壁コンクリート

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0070) 壁コンクリート (ベンチ部)	1	式			第0001号下内
(AMA0040) 壁コンクリート (デッキ部)	1	式			第0002号下内
(AMA0140) 壁コンクリート (スロープ部)	1	式			第0003号下内
合 計					

第0002号 内訳書  
蓋コンクリート

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0130) 蓋コンクリート	1	式			第0004号下内
合 計					

第0003号 内訳書  
水たたき部コンクリート

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 型押しコンクリート舗装 (水たたき部)	1	式			第0005号下内
合 計					

第0004号 内訳書  
石張舗装補修

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0060) 構造物取り壊し(石張舗装部)					第0006号下内
	1	式			
(AMA0020) 型押しコンクリート舗装(石張舗装部)					第0007号下内
	1	式			
合 計					

第0005号 内訳書  
コンクリート圧送

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0050) コンクリート圧送					第0008号下内
	1	式			
合 計					

第0006号 内訳書  
コンクリート側面着色

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0120) コンクリート塗装					第0009号下内
	1	式			
合 計					

第0007号 内訳書  
デッキ部復旧

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0080) 根太改修・板設置(デッキ)					第0010号下内
	1	式			
合 計					

第0008号 内訳書  
ベンチ復旧

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0030) 根太改修・板設置 (ベンチ)					第0011号下内
	1	式			
合 計					

第0009号 内訳書  
階段部復旧

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0090) 根太改修・板設置 (階段)					第0012号下内
	1	式			
合 計					

第0010号 内訳書  
スロープ背後ボード復旧

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0100) 根太改修・板設置 (スロープ背後)					第0013号下内
	1	式			
合 計					

第0011号 内訳書  
付属物工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0110) 手摺設置					第0014号下内
	1	式			
合 計					

第0985号 内訳書  
スクラップ評価額

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0210) イペ材					
	15	t			
合 計					

第0001号 下位内訳書  
 AMA0070 壁コンクリート (ベンチ部)

1 式 当り  
 適用年版 T0201  
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0100) 差筋工 (ベンチ)	444	本			第0001号単価表
(WB810010) 鉄筋工 [市場単価]  J01=SD295A D13, J02=一般構造物, J03=10t未満, J04=無, J05=無, J06=無, J07=無, J08=補正無 (鉄筋割合10%未満含む), J09=補正無 (一般構造物)	0.11	t			第0005号単価表
(CB240210) 型枠  J01=一般型枠, J02=小型構造物	89	m2			第0006号単価表
(CB240010) コンクリート  J01=小型構造物, J02=人力打設, J03=各種, J05=一般養生, J07=無し, J13=全ての費用	6.6	m3			第0007号単価表
(CB224710) 目地板  J01=樹脂発泡体 (15倍発泡) t=10	0.7	m2			第0008号単価表
合 計					
	1	式			円/式



第0002号 下位内訳書  
 AMA0040 壁コンクリート (デッキ部)

1 式 当り  
 適用年版 T0201  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0050) 差筋工 (デッキ)	271	本			第0009号単価表
(WB810010) 鉄筋工 [市場単価]  J01=SD295A D13, J02=一般構造物, J03=10t未満, J04=無, J05=無, J06=無, J07=無, J08=補正無 (鉄筋割合10%未満含む), J09=補正無 (一般構造物)	0.067	t			第0005号単価表
(CB240210) 型枠  J01=一般型枠, J02=小型構造物	24	m2			第0006号単価表
(CB240010) コンクリート  J01=小型構造物, J02=人力打設, J03=各種, J05=一般養生, J07=無し, J13=全ての費用	1.5	m3			第0007号単価表
(TJ0220) 水抜きパイプ設置 (材工共) VU φ 40	7	本			
(CB224710) 目地板  J01=樹脂発泡体 (15倍発泡) t=10	0.1	m2			第0008号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0003号 下位内訳書  
 AMA0140 壁コンクリート (スロープ部)

1 式 当り  
 適用年版 T0201  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0110) 差筋工 (スロープ)	132	本			第0010号単価表
(CB240210) 型枠	15	m2			第0006号単価表
J01=一般型枠, J02=小型構造物					
(CB240010) コンクリート	0.8	m3			第0007号単価表
J01=小型構造物, J02=人力打設, J03=各種, J05=一般養生, J07=無し, J13=全ての費用					
合 計					
	1	式			円/式

第0004号 下位内訳書  
 AMA0130 蓋コンクリート

1 式 当り  
 適用年版 T0201  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB240010) コンクリート	15	m3			第0007号単価表
J01=小型構造物, J02=人力打設, J03=各種, J05=一般養生, J07=無し, J13=全ての費用					
合 計					
	1	式			円/式

第0005号 下位内訳書  
AMA0010 型押しコンクリート舗装 (水たたき部)

1 式 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB410820) コンクリート舗装工 人力舗設					第0011号単価表
J01=20cm未満	858	m2			
(WB410830) コンクリート舗装工(材料)					第0012号単価表
J01=100 m2/100m2, J02=0 t/100m2, J03=0 t/100m2, J04=各種, J05=0.15 m, J06=無	858	m2			
(CB224710) 目地板					第0008号単価表
J01=樹脂発泡体(15倍発泡)t=10	17	m2			
(TJ0010) 型押しコンクリート					
	858	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0006号 下位内訳書  
AMA0060 構造物取り壊し (石張舗装部)

1 式 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB824010) 構造物とりこわし					第0013号単価表
J01=無筋構造物, J02=人力施工, J03=無し, J04=無し	7	m3			
(CB227010) 殻運搬					第0014号単価表
J01=Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし, J02=人力積込, J03=有り, J07=10.5km以下, J16=全ての費用	7	m3			
(Z132597010) 廃材処理料 (東部地区) 無筋C○殻					
	7	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0007号 下位内訳書  
AMA0020 型押しコンクリート舗装 (石張舗装部)

1 式 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB410820) コンクリート舗装工 人力舗設					第0011号単価表
J01=20cm未満	101	m2			
(WB410830) コンクリート舗装工(材料)					第0015号単価表
J01=0 m2/100m2, J02=0 t/100m2, J03=0 t/100m2, J04=各種, J05=0.07 m, J06=無	101	m2			
(TJ0010) 型押しコンクリート					
	101	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0008号 下位内訳書  
AMA0050 コンクリート圧送

1 式 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DHT22660) コンクリートポンプ車7'-A式 90~110m3/h					第0016号単価表
		日			
(DH143060) 配管設置撤去					第0017号単価表
J01=陸上施工	360	m			
(DH143190) 配管損料					第0018号単価表
J01=331200 円	1	式			
合 計					
	1	式			円/式

第0009号 下位内訳書  
AMA0120 コンクリート塗装

1 式 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0200) 脱型着色	102	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0010号 下位内訳書  
AMA0080 根太改修・板設置 (デッキ)

1 式 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0030) 材料費 (デッキ)	154	m2			第0019号単価表
(SJ0040) 設置労務費 (デッキ)	154	m2			第0020号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0011号 下位内訳書  
AMA0030 根太改修・板設置 (ベンチ)

1 式 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 材料費 (ベンチ)	268	m2			第0021号単価表
(SJ0020) 設置労務費 (ベンチ)	268	m2			第0022号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0012号 下位内訳書  
 AMA0090 根太改修・板設置 (階段)

1 式 当り  
 適用年版 T0201  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0060) 材料費 (階段)		m2			第0023号単価表
	167				
(SJ0070) 設置労務費 (階段)		m2			第0024号単価表
	167				
合 計					
		式			円/式
	1				

第0013号 下位内訳書  
 AMA0100 根太改修・板設置 (スロープ背後)

1 式 当り  
 適用年版 T0201  
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0080) 材料費 (スロープ背後)		m2			第0025号単価表
	26				
(SJ0090) 設置労務費 (スロープ背後)		m2			第0026号単価表
	26				
合 計					
		式			円/式
	1				

第0014号 下位内訳書  
AMA0110 手摺設置

1 式 当り  
適用年版 T0201  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0120) スロープ手摺 15m両側、2段手すり	3	基			
(TJ0130) スロープ手摺組立設置費	3	基			
合 計					
	1	式			円/式

第0001号 単価表  
SJ0100 差筋工 (ベンチ)

100 本 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH117080) 削孔(ハンマドリル)	100	孔			第0002号単価表
(TJ0110) あと施工アンカー (材工共) 樹脂カプセル (D13用)	100	本			
(WB810010) 鉄筋工[市場単価]	0.04	t			第0004号単価表
合 計					
	1	本			整数止め切捨て 円/本

第0002号 単価表  
DH117080 削孔(ハンマドリル)

100 孔 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(DHT22110) 発動発電機(雑工(削孔工)による場合)2kVA		日			第0003号単価表 [1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% $\Sigma [1] * 0.24$	1	式			
合 計					
	1	孔			円/孔



第0003号 単価表  
DHT22110 発動発電機(雑工(削孔工)による場合)2kVA

1 日 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z304010050) -00007 ガソリン レキューター		L			
(L301030010) 発動発電機 2kVA		日	【賃料】		
合 計					
	1	日			円/日

第0004号 単価表  
WB810010 鉄筋工[市場単価]

1 t 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z001102009) 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295A D13	1.03	t			[1]
(Q001001008) 鉄筋工 加工・組立共 差筋及び杭頭処理	1	t			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	t			円/t
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 鉄筋材料規格・径	2		SD295A D13		
J02 規格・仕様区分	1		一般構造物		
J03 施工規模	2		10t未満		
J04 時間的制約を受ける場合の補正	2		無		
J05 夜間作業補正	2		無		
J06 トンネル内作業の補正	2		無		
J07 法面作業の補正	2		無		
J08 太径鉄筋補正	1		補正無(鉄筋割合10%未満含む)		
J09 構造物種別による補正	6		差筋及び杭頭処理		

第0005号 単価表  
WB810010 鉄筋工[市場単価]

1 t 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z001102009) 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295A D13	1.03	t			[1]
(Q001001002) 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	1	t			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	t			円/t
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 鉄筋材料規格・径	2		SD295A D13		
J02 規格・仕様区分	1		一般構造物		
J03 施工規模	2		10t未満		
J04 時間的制約を受ける場合の補正	2		無		
J05 夜間作業補正	2		無		
J06 トンネル内作業の補正	2		無		
J07 法面作業の補正	2		無		
J08 太径鉄筋補正	1		補正無(鉄筋割合10%未満含む)		
J09 構造物種別による補正	1		補正無(一般構造物)		

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
型わく工					R0133
	R0133				
普通作業員					R0102
	R0102				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称		入力値		条件値	
J01 型枠の種類		1		一般型枠	
J02 構造物の種類		2		小型構造物	

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
普通作業員	R0102				R0102
特殊作業員	R0101				R0101
土木一般世話役	R0125				R0125
生コンクリート (高炉) 18-15-25 (20) W/C指定無し	Z002012005				Y000210000 -00003
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 構造物種別	2		小型構造物		
J02 打設工法	4		人力打設		
J03 コンクリート規格	46		各種		
J05 養生工の種類	2		一般養生		
J07 現場内小運搬の有無	2		無し		
J13 費用の内訳	1		全ての費用		

第0008号 単価表 機労材構成比情報  
CB224710 目地板

1 m2 当り  
適用年版 T0201

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
普通作業員					R0102
	R0102				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
樹脂発泡体目地板					Z004156005
厚10mm 15倍	Z004152001				
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称		入力値		条件値	
J01 目地板の種類		3		樹脂発泡体(15倍発泡)t=10	

第0009号 単価表  
SJ0050 差筋工(デッキ)

100 本 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
(DH117080) 削孔(ハンマドリル)					第0002号単価表
	100	孔			
(TJ0110) あと施工アンカー(材工共) 樹脂カプセル(D13用)					
	100	本			
(WB810010) 鉄筋工[市場単価]					第0004号単価表
	0.021	t			
合計					
	1	本			整数止め切捨て 円/本

第0010号 単価表  
SJ0110 差筋工 (スロープ)

100 本 当り  
適用年版 T0201  
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH117080) 削孔(ハンマドリル)	100	孔			第0002号単価表
(TJ0110) あと施工アンカー (材工共) 樹脂カプセル (D13用)	100	本			
(WB810010) 鉄筋工[市場単価]	0.026	t			第0004号単価表
合 計					
	1	本			整数止め切捨て 円/本

第0011号 単価表  
WB410820 コンクリート舗装工 人力舗設

100 m2 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.27$	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値			
J01 平均舗設厚	2	20cm未満			

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y000210000) -00003 生コンクリート(高炉) 18-15-25(20) W/C指定無し	15.6	m <sup>3</sup>			[1]
(Z004130002) アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		L			[1]
(Z001452002) 鉄筋金網(SD295) D6×150×150	100	m <sup>2</sup>			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m <sup>2</sup>			円/m <sup>2</sup>
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 鉄網(D6 150×150)使用量(実数)	100		100 m <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup>		
J02 鉄筋鉄網(D13 200×200)量(実数)	0		0 t/100m <sup>2</sup>		
J03 補強鉄筋(D13)使用量(実数入力)	0		0 t/100m <sup>2</sup>		
J04 コンクリートの規格	5		各種		
J05 平均舗装厚(実数入力)	0.15		0.15 m		
I06 アスファルト中間層の有無	2		無		

第0013号 単価表  
WB824010 構造物とりこわし

1 m3 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001611002) 無筋構造物 昼間 人力施工 制約無	1	m3			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m3			円/m3
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 構造物区分	1		無筋構造物		
J02 工法区分	2		人力施工		
J03 時間的制約の有無	1		無し		
J04 夜間作業の有無	1		無し		

第0014号 単価表 機労材構成比情報  
CB227010 殻運搬

1 m3 当り  
適用年版 T0201

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック【オノロード・ティーズル】 2t積級	MP03010010			【損料】	M000301001
運転手(一般)	R0115				R0115
軽油 1.2号	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 殻発生作業	1		Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし		
J02 積込工法区分	2		人力積込		
J03 DID区間の有無	2		有り		
J07 運搬距離(km)(DID区間有)	11		10.5km以下		
J16 費用の内訳	1		全ての費用		



第0015号 単価表  
WB410830 コンクリート舗装工(材料)

100 m2 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y000210000) -00003 生コンクリート(高炉) 18-15-25(20) W/C指定無し	7.28	m <sup>3</sup>			[1]
(Z004130002) アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		L			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	m <sup>2</sup>			円/m <sup>2</sup>
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 鉄網(D6 150×150)使用量(実数)	0		0 m <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup>		
J02 鉄筋鉄網(D13 200×200)量(実数)	0		0 t/100m <sup>2</sup>		
J03 補強鉄筋(D13)使用量(実数入力)	0		0 t/100m <sup>2</sup>		
J04 コンクリートの規格	5		各種		
J05 平均舗装厚(実数入力)	0.07		0.07 m		
T06 アスファルト中間層の有無	2		無		

第0016号 単価表  
DHT22660 コンクリートポンプ車7'-M式 90~110m<sup>3</sup>/h

1 日 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z304010090) -00002 軽油 ミノーラー		L			
(R0114) 運転手(特殊)		人			
(M303592000) コンクリートポンプ車[トラック架装・7'-M式] 圧送能力90~110m <sup>3</sup> /h		時間	【損料】		
(M303592000) コンクリートポンプ車[トラック架装・7'-M式] 圧送能力90~110m <sup>3</sup> /h		供用日	【損料】		
合 計					
	1	日			円/日

第0017号 単価表  
DH143060 配管設置撤去

100 m 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ[1] * 0.005	1	式			
合 計					
	1	m			円/m
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
I01 施工区分	1		陸上施工		

第0018号 単価表  
DH143190 配管損料

1 式 当り  
適用年版 T0201

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z308004000) 配管 径125mm	1	式			
合 計					
	1	式			円/式
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
T01 配管損料	331,200		331200 円		

第0019号 単価表  
SJ0030 材料費 (デッキ)

154 m2 当り  
適用年版 T0201

(上段: 前 回 下段: 今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0100) 床板固定ビス DR6-60B M6×60 (SUS410)	4,100	本			[1]
(TJ0020) 根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) C-75×45×15×t2.3 L=2,270	140	本			[1]
(TJ0030) 支持ボルト (SUS304) M16×150寸切ボルト+2角W+SWN	420	セット			[1]
(TJ0040) 支持脚固定ボンド エポキシ樹脂系接着剤	5	セット			[1]
(ZS7210200) 諸雑費 (その他材料) (率) Σ [1] * 0.03	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0020号 単価表  
 SJ0040 設置労務費 (デッキ)

154 m2 当り  
 適用年版 T0201

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役	9.3	人			[1]
(R0134) 大工	23.25	人			[1]
(R0101) 特殊作業員	14	人			[1]
(R0102) 普通作業員	18.6	人			[1]
(R0103) 軽作業員	27.9	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.025$	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0021号 単価表  
SJ0010 材料費 (ベンチ)

268.48 m2 当り  
適用年版 T0201

(上段: 前回 下段: 今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0100) 床板固定ビス DR6-60B M6×60(SUS410)	9,600	本			[1]
(TJ0140) 床板固定ビス TG6-65B M5×63 (SUS-XM7)	500	本			[1]
(TJ0050) 根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-100×50×t2.3(L=125+470)	460	本			[1]
(TJ0060) 根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-100×50×t2.3(L=550)	460	本			[1]
(TJ0070) 通しアングル (高耐食溶融めっき) L-40×40×3,000×t3.2	230	本			[1]
(TJ0080) 支持脚 M12×150寸切ボルト+2角W+S WN	480	本			[1]
(TJ0040) 支持脚固定ボンド エポキシ樹脂系接着剤	5	セット			[1]
(ZS7210200) 諸雑費(その他材料)(率) Σ [1] * 0.03	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0022号 単価表  
 SJ0020 設置労務費 (ベンチ)

268.48 m2 当り  
 適用年版 T0201

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役	20.5	人			[1]
(R0134) 大工	51.3	人			[1]
(R0101) 特殊作業員	30.8	人			[1]
(R0102) 普通作業員	41	人			[1]
(R0103) 軽作業員	61.5	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.025$	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0023号 単価表  
SJ0060 材料費 (階段)

167.4 m2 当り  
適用年版 T0201

(上段: 前回 下段: 今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0100) 床板固定ビス DR6-60B M6×60 (SUS410)	6,000	本			[1]
(TJ0150) 根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-40×40×1540×t1.6	84	本			[1]
(TJ0160) 根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-40×40×400×t1.6	252	本			[1]
(TJ0170) 根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-40×40×160×t1.6	252	本			[1]
(TJ0180) 根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-40×40×5500×t1.6	15	本			[1]
(TJ0190) 支持ボルト (SUS304) M12×30六角ボルト+W+SW+グリップ アンカー	1,080	セット			[1]
(ZS7210200) 諸雑費 (その他材料) (率) Σ [1] * 0.03	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0024号 単価表  
 SJ0070 設置労務費 (階段)

167 m2 当り  
 適用年版 T0201

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役	12.6	人			[1]
(R0134) 大工	31.5	人			[1]
(R0101) 特殊作業員	18.9	人			[1]
(R0102) 普通作業員	25.2	人			[1]
(R0103) 軽作業員	37.8	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.025$	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2



第0025号 単価表  
 SJ0080 材料費 (スロープ背後)

26.7 m<sup>2</sup> 当り  
 適用年版 T0201

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0100) 床板固定ビス DR6-60B M6×60 (SUS410)	750	本			[1]
(TJ0140) 床板固定ビス TG6-65B M5×63 (SUS-XM7)	66	本			[1]
(TJ0230) 根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-100×50×t2.3 (L=125+750)	66	本			
(TJ0070) 通しアンゲル (高耐食溶融めっき) L-40×40×3,000×t3.2	15	本			[1]
(ZS7210200) 諸雑費(その他材料)(率) Σ [1] * 0.03	1	式			
合 計					
	1	m <sup>2</sup>			整数止め切捨て 円/m <sup>2</sup>

第0026号 単価表  
 SJ0090 設置労務費 (スロープ背後)

26.7 m2 当り  
 適用年版 T0201

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役	2	人			[1]
(R0134) 大工	5	人			[1]
(R0101) 特殊作業員	3	人			[1]
(R0102) 普通作業員	4	人			[1]
(R0103) 軽作業員	6	人			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.025$	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TJ0010	型押しコンクリート	m <sup>2</sup>	T0201	8,000	その他施工単価等	全間接費対象	部独自
TJ0020	根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) C-75×45×15×t2.3 L=2,270	本	T0201	7,450	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0030	支持ボルト (SUS304) M16×150寸切ボルト+2角W+SWN	セット	T0201	380	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0040	支持脚固定ボンド エポキシ樹脂系接着剤	セット	T0201	3,100	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0050	根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-100×50×t2.3 (L=125+470)	本	T0201	6,500	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0060	根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-100×50×t2.3 (L=550)	本	T0201	2,800	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0070	通しアングル (高耐食溶融めっき) L-40×40×3,000×t3.2	本	T0201	4,400	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0080	支持脚 M12×150寸切ボルト+2角W+SWN	本	T0201	320	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0100	床板固定ビス DR6-60B M6×60 (SUS410)	本	T0201	105	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0110	あと施工アンカー (材共) 樹脂カプセル (D13用)	本	T0201	567	特殊単価等	全間接費対象	見積り
TJ0120	スロープ手摺 15m両側、2段手すり	基	T0201	870,000	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0130	スロープ手摺組立設置費	基	T0201	192,000	その他施工単価等	全間接費対象	見積り
TJ0140	床板固定ビス TG6-65B M5×63 (SUS-XM7)	本	T0201	60	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0150	根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-40×40×1540×t1.6	本	T0201	3,000	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0160	根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-40×40×400×t1.6	本	T0201	880	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0170	根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-40×40×160×t1.6	本	T0201	380	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0180	根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-40×40×5500×t1.6	本	T0201	7,500	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0190	支持ボルト (SUS304) M12×30六角ボルト+W+SW+クリップアンカー	セット	T0201	800	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0200	脱型着色	m <sup>2</sup>	T0201	4,017	その他施工単価等	全間接費対象	見積り
TJ0210	イペ材	t	T0201	25,000	スクラップ評価額		見積り
TJ0220	水抜きパイプ設置 (材共) VU φ40	本	T0201	150	特殊単価等	全間接費対象	見積り
TJ0230	根太材 (高耐食溶融めっき鋼板) □-100×50×t2.3 (L=125+750)	本	T0201	6,500	資材単価	全間接費対象	見積り
Y000210000 -00003	生コンクリート (高炉) 18-15-25 (20) W/C指定無し	m <sup>3</sup>	T0201	12,700	資材単価	全間接費対象	
Z304010050 -00007	ガソリン レギュラー	L	T0201	130	資材単価	全間接費対象	
Z304010090 -00002	軽油 マイクロ	L	T0201	115	資材単価	全間接費対象	